

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 2 月 14 日 (2013.2.14)

【公開番号】特開 2011-213769 (P2011-213769A)

【公開日】平成 23 年 10 月 27 日 (2011.10.27)

【年通号数】公開・登録公報 2011-043

【出願番号】特願 2010-80637 (P2010-80637)

【国際特許分類】

C 08 L 67/02 (2006.01)

C 08 K 5/5313 (2006.01)

C 08 L 33/14 (2006.01)

【F I】

C 08 L 67/02

C 08 K 5/5313

C 08 L 33/14

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 12 月 18 日 (2012.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、ポリブチレンテレフタレート樹脂 (A) 100 重量部に対して、ホスフィン酸塩、ジホスフィン酸塩およびこれらの重合体からなる群より選択される少なくとも一種のホスフィン酸塩類 (B) 17 ~ 45 重量部ならびにエポキシ基を有するアクリルコアシエル型ポリマー (C) 1 ~ 14 重量部を含有する難燃性樹脂組成物である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

かかるコアシエル型ポリマーのシェル層としては、エポキシ基を有するビニル系 (共) 重合体が好ましく用いられる。エポキシ基を有するビニル系 (共) 重合体は、芳香族ビニル単量体、シアン化ビニル単量体、メタクリル酸エステル系単量体およびアクリル酸エステル単量体の中から選ばれる少なくとも 1 種のモノマーと、エポキシ基を含むビニル系モノマーを共重合させて得られる。エポキシ基を含むビニル系モノマーとしては、不飽和カルボン酸のグリシジルエステル、エーテル化合物が好ましく用いられる。代表的な化合物としては、グリシジルメタクリレートが一般的に用いられるが、本発明にはエポキシ基の導入方法、導入量によらず、いずれのエポキシ基を有するビニル系 (共) 重合体も好ましく用いることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

これらエポキシ基を有するアクリルコアシェル型ポリマーの市販品としては、例えば、ロームアンドハースジャパン（株）社製「“パラロイド（登録商標）” E X L - 2 3 1 4」（コア層：ブチルアクリレートを主な重合成分とする（共）重合体、シェル層：エポキシ基を導入したメチルメタクリレートを主な重合成分とする（共）重合体）などが挙げられる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

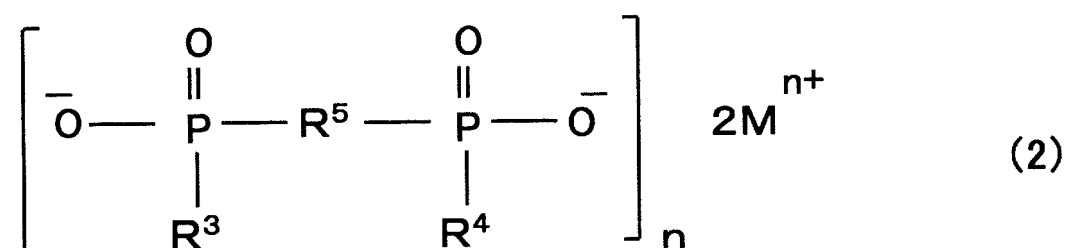
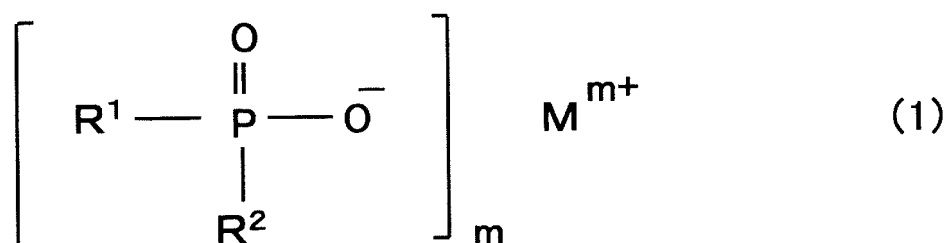
【請求項 1】

ポリブチレンテレフタレート樹脂（A）100重量部に対して、ホスフィン酸塩、ジホスフィン酸塩およびこれらの重合体からなる群より選択される少なくとも一種のホスフィン酸塩類（B）17～45重量部ならびにエポキシ基を有するアクリルコアシェル型ポリマー（C）1～14重量部を含有する難燃性樹脂組成物。

【請求項 2】

前記ホスフィン酸塩類（B）が、下記一般式（1）で表されるホスフィン酸塩、下記一般式（2）で表されるジホスフィン酸塩およびこれらの重合体からなる群より選択される少なくとも1種である請求項1記載の難燃性樹脂組成物。

【化 1】



上記一般式（1）中、 $\text{R}^1$  および  $\text{R}^2$  は同一でも異なってもよく、アルキル基、シクロアルキル基、アリール基またはアラルキル基を示す。 $\text{R}^1$  および  $\text{R}^2$  は互いに結合して隣接するリン原子とともに環を形成してもよい。 $\text{M}^{m+}$  は価数  $m$  の金属を示し、 $m$  は 2～4 の整数を示す。上記一般式（2）中、 $\text{R}^3$  および  $\text{R}^4$  は同一でも異なってもよく、アルキル基、シクロアルキル基、アリール基またはアラルキル基を示す。 $\text{R}^5$  はアルキレン基、2価の脂環式炭化水素基またはアリーレン基を示す。 $\text{M}^{n+}$  は価数  $n$  の金属を示し、 $n$  は 2～4 の整数を示す。

【請求項 3】

ポリブチレンテレフタレート樹脂（A）100重量部に対して、さらにトリアジン系化合物とシアヌール酸またはイソシアヌール酸との塩（D）1～30重量部を含有する請求項1または2記載の難燃性樹脂組成物。

【請求項 4】

ポリブチレンテレフタレート樹脂（A）100重量部に対して、さらにガラス繊維（E）

1 ～ 1 0 0 重量部を含有する請求項 1 ～ 3 のいずれか記載の難燃性樹脂組成物。

**【請求項 5】**

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の難燃性樹脂組成物を成形して得られる成形品。